



おすすめ絵本



子育て中のママやパパへ

ちょっと息抜きしたい時に開いてほしい、スタッフおすすめの絵本を紹介します！！

くすっと笑える 1冊編

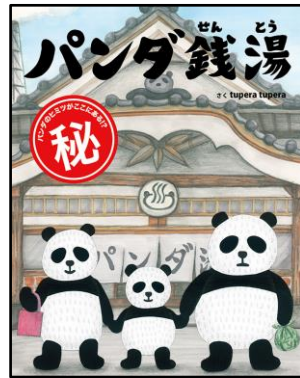


『あつかったら ぬげばいい』 著者/ ヨシタケシンスケ
出版社/白泉社

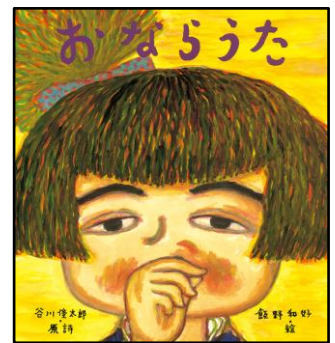
「ハトハトにつかれたら」「ふとっちゃったら」「だれもわかってくれなかったら」「せいかいかわってしまったら」…。子ども、大人、おじいちゃんのさまざまな疑問に痛快に答える！大人も子どもも楽しめる、ヨシタケ式心を緩める絵本。



『おかあさんのパンツ』
作/山岡ひかる
出版社/絵本館



『ぱんだ銭湯』
作/Tupera tupera
出版社/絵本館



『おならうた』
原誌/谷川俊太郎
絵/飯野和好
出版社/絵本館

キュンとする1冊編♡



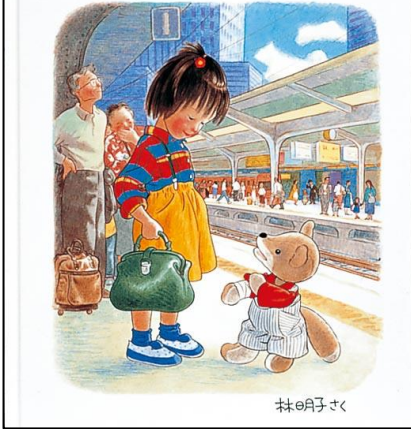
『りんごがひとつ』 作・絵/ふくだすぐる
出版社/岩崎書店

りんごがひとつおちていた。すかさずみつけて、ヒョイト、もってくおさると、それを追いかけるみんな。みんなはおさるをがけにおいつめた。でもよくみると・・・？ どうぶつたちのカケヒキが笑えるゆかいな絵本。





こんとあき



『こんとあき』

作/林 明子

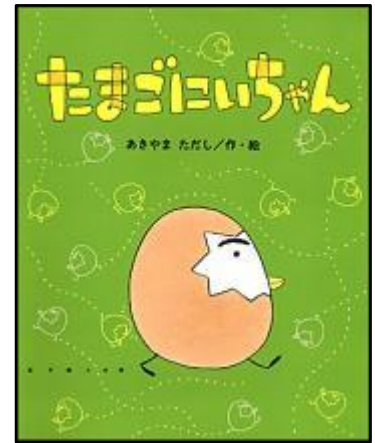
出版社/福音館書店

こんは、あきのおばあちゃんが作ったキツネのぬいぐるみ。あきが成長するにつれ、こんは古びて、腕がほころびてしまいました。あきはこんを治してもらうため、こんと一緒ににおばあちゃんの家に向かいます。あきは、電車でこんとはぐれたり、犬に連れさられたこんを探したりと、大変な目にあいます。こんとあきは無事におばあちゃんの家につくことができるのでしょうか？ お互いがかけがえのない存在であるこんとあきの冒険の物語。

『たまごにいちゃん』 作・絵/ あきやま ただし

出版社/ すずき出版

本当はもう、たまごから出ているはずのたまごにいちゃんは、ずーっとたまごでいたいと思っていました。だって、たまごだったらお母さんにあたためてもらえるから。ところがある日、たいせつなたまごのからにひびが入ってしまって…。 成長する子どもの心の揺れをユーモアたっぷりに描いたお話です。



きょうは+んのひ?

瀬田貞二作・林明子絵



『きょうはなんのひ?』 瀬田 貞二 作 / 林 明子 絵

出版社/福音館書店

朝、学校に行くまみこはおかあさんに、「きょうはなんのひだか、しってるの?……しらなきゃかいだん3だんめ」と謎のことばを残して玄関をでていきました。おかあさんが階段を見ると、そこには赤いひもで結ばれた手紙がありました。手紙には「ケーキのはこをごらんさい」と書いてありました。箱の中にはまた手紙……。次々と手紙を見つけていったお母さんが最後に見つけたものは?親子の間に流れる温かい心づかいを描いています。

